

1月 校長室だより

平成30年1月 大阪市立淀川中学校 校長 二上和正

あけましておめでとうございます

皆様におかれましては、よいお正月を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

人権講演会



12月9日(土)土曜授業参観の後、体育館でPTA主催で人権講演会を行いました。東日本大震災では地震、津波による被害だけではなく、福島第一原発の建屋が壊れ、放射能が漏れるという重大な事故が起きました。目に見えない放射能の恐怖はいまだ消えていない、年数が経過するにつれ甲状腺がんなどの健康被害も増加傾向にある。また、自主避難した中学生が深刻ないじめに遭うという、人権を脅かす事件が昨年、横浜で発生しました。

講師としてお招きした森松明希子さんは福島県で東日本大震災に被災されました。福島第一原発の直近では強制避難勧告が出されましたが、森松さんのご自宅はそうでなかったため、すぐに避難されませんでした。しかし、東京都の水道水に放射能物質が含まれているという報道に森松さんはショックを受けられました。福島第一原発から60キロしか離れていないところに住む森松さんは0歳児の我が子に母乳を与えておられました。自分が飲んでいっている水道水に放射性物質が含まれ、それを知っているながら我が子に与える苦しみに耐えられず、医師という仕事のためその地に旦那さんを残し、3歳と0歳の二児といっしょに大阪に自主避難されました。

福島では避難指示区域外に住む住民の皆さんがそこにとどまるのか、避難するのか、個人としての決断を強いられています。放射能の恐怖からひとときも解放されることはないということです。

行政相談教室

近畿管区行政評価局からゲストティーチャーをお招きし、3年生の各クラスで行政相談教室を行いました。

日々の生活で「この道見通しが悪くて、危ないなあ」と思ったり、「街頭がなくて、暗いなあ」こんな時、どこに相談に行けばいいのか。全国に約5000人の行政相談委員がおられる。総務大臣が委嘱し、ボランティアで住みよい社会を作るために様々な活動をされている。生徒たちには自分の暮らしと社会が身近なところでつながっていることを感じてくれたのではないかと思います。さらに社会への参画意識を高めてくれることを願っています。



ふれあい体験学習



3年生では、毎年家庭科の保育学習の一環としてコティ保育園のご協力を得て、保育実習を行っています。手作りの名札を付け、自作の絵本を園児たちに読み聞かせをしたりしていました。また、屋外で元気いっぱい走り回ったり、追いかっこをしていました。最初はどのようにいいのか戸惑っていた生徒たちもすぐに慣れ、いっしょに遊んでいました。小さい子どもたちといると知らず知らずのうちに笑顔になります。女子生徒の膝に座っている園児の姿に何とも言えないほほえましさを感じました。つかの間の短い時間でしたが、生徒たちにとっては貴重な体験でした。

少子高齢化の時代と言われていますが、未来を担う生徒たちには心を開き、着実に世代のバトンをつないでくれることを願っています。

12月その他

12月は他にも1年生「薬物乱用防止教室」2年生「LGBT」(多様な性のありかたを考える)についての学習、淀川中学校料理教室など、たくさんの方々をお招きし、お話や実習をしていただきました。その模様については本校ホームページをご覧ください。

1月の主な行事

9日(火) 始業式
10日(水)～11日(木) 3年第5回実力テスト
11日(木) 1・2年チャレンジテスト
24日(水) 1年歯と口の健康教室
26日(金) 私立高校出願
31日(水)～2/2(金) 3年学年末テスト

